

東京電力ホールディングス(株)福島第一原子力発電所
2020年度 パフォーマンス向上会議情報(2020年7月9日(木)分)

◆不適合とは、本来あるべき状態とは異なる状態、もしくは本来行うべき行為(判断)とは異なる行為(判断)を言います。法律等で報告が義務づけられているトラブルから、発電所の通常の点検で見つかる計器や照明の故障など、広い範囲の不具合が対象になります。

2020年7月9日のパフォーマンス向上会議で審議された不適合は、下記のとおりです。

番号	不適合内容	グレード	発見日
1	<p>【当社HPIに公表している「焼却炉建屋排気筒ダストサンプリング※」のトリチウム放射能濃度分析値の誤りについて】 当社社員が社内資料作成中、HPIに公表している「焼却炉建屋排気筒ダストサンプリング」のトリチウム放射能濃度分析値に誤りがあることを発見。 調査をしたところ、協力企業委託員がトリチウム放射能濃度を評価する際、試料採取期間を5/7~6/3とするところ、誤って5/20~6/3としたためと判明。 今後、原因の調査、対策を検討。</p> <p>※焼却炉建屋排気筒ダストサンプリング 雑固体廃棄物焼却設備建屋排気筒から排出される排ガス等の放射性物質の放射能濃度分析値を掲載しているもの</p>	G II	7月3日
2	<p>【協力企業作業員の管理区域立入許可証の紛失について】 協力企業の立入許可証等管理責任者が異動に伴う他の管理責任者への引き継ぎにあたり、物品確認を行なったところ1名分の管理区域立入許可証がないことを確認。 所内を探したが見当たらないため、警察に紛失届を提出。 紛失した時期や原因等は不明。 今後、管理者の「許可証」の確認方法を明確化するとともに、管理区域立入許可証の扱いを含め入所時教育を徹底する。</p>	G II	7月1日